



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3151 URL <https://www.vitalksk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-266-2263
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	294,213	—	2,868	—	3,478	—	2,347	—
2023年3月期第2四半期	290,166	—	1,521	—	2,423	—	1,437	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,951百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 5,328百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	45.78	—
2023年3月期第2四半期	27.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	321,745	102,766	31.6
2023年3月期	297,316	100,165	33.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 101,539百万円 2023年3月期 98,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	27.00	39.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	576,000	—	4,700	—	6,000	—	5,200	102.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*増減率につきましては、表示方法の変更に伴い記載しておりません。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	51,902,976株	2023年3月期	61,224,796株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	1,106,317株	2023年3月期	9,438,699株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	51,269,318株	2023年3月期2Q	52,451,916株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2023年11月10日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社では従来、メーカーへの販売情報提供に係る収入を「営業外収益」の「受取事務手数料」として計上していましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めることとした表示方法の変更を行っております。この変更により、前第2四半期連結累計期間の業績について、表示方法の変更を反映した遡及処理を行った数値を記載しております。

これらの詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご参照ください。

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナのもとで経済活動の再開が進んでおり、緩やかに持ち直していく動きが期待されております。しかしその一方で、世界各国でインフレ対応のための金融引き締め等が続いていることから、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクが存在しております。さらに、物価の上昇、供給面での制約及び金融資本市場の変動等、依然として不確実性が高く、景気動向には留意する必要があります。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、2023年4月の薬価改定による医療費削減効果は3,100億円規模となり、今後も社会保障制度や薬価制度など人々の生命、健康にかかわる政策・制度の抜本改革へ向けた議論が活発化し薬剤費の抑制政策は継続されることが予想されます。医薬品市場の開発、製造、流通の現場では日々ダイナミックな変化が起こる中にあり、医薬品流通にかかわる諸課題の解決の道筋も複雑化しており事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような市場構造と経営環境の変化を踏まえて、当社グループでは、2024年3月期より「長期ビジョン2035」を「垣根を越えて 薬の先へ “つなぐ” ことで医療の未来を革新する」として策定しました。この長期ビジョンのもと、自立と連携により医薬品・メディカル関連商品の持続可能な流通体制を構築するとともに、社会課題の解決、健康寿命の延伸に寄与することを目的に医療周辺ビジネスを拡大してまいります。また、当社グループは「次代を見据えたビジネスモデルの革新」を中期ビジョンとし、2023年3月期から2025年3月期までの3年間にわたる第5次中期経営計画に取り組んでおります。本中期経営計画では、実践課題として「1. 市場の構造変化と市場特性に合わせた医薬品流通モデルの追求」「2. 医療のDX進展に伴う流通・マーケティングモデルの進化」「3. プライム市場に対応したグループ経営推進」を設定し、この課題を着実に解決することで、地域のヘルスケアに欠かせない企業として一層の進化を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高294,213百万円(前年同期実績は290,166百万円)、営業利益2,868百万円(前年同期実績は1,521百万円)、経常利益は3,478百万円(前年同期実績は2,423百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,347百万円(前年同期実績は1,437百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業の当第2四半期連結累計期間におきましては、薬価改定の影響および一部メーカーの取扱い停止や、コロナ関連の検査試薬や機器等の販売が落ち込む等によるマイナスの影響はあったものの、新型コロナウイルス治療薬等の販売伸長が減収分を上回り、増収となりました。また利益面においても、この増収効果に加えて得意先1軒1軒ごとに取引コストを意識した価格交渉を進めたことなどによる収益を計上した他、前年同期に計上した一部の大口得意先債権にかかる貸倒引当金の反動等により前年実績を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は277,201百万円(前年同期実績は273,830百万円)、セグメント利益(営業利益)は、2,640百万円(前年同期実績は1,393百万円)となりました。

② 薬局事業

薬局事業におきましては、事業譲受により1店舗増加したことに加え、調剤技術料収入および薬学管理料収入の増大に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更されたことに伴う人流増加等により受付処方箋枚数が増加したことなどから、売上高は、9,386百万円（前年同期実績は9,009百万円）、セグメント利益（営業利益）は、その増収効果に加え、のれんの償却費が大幅に減少したことにより増益の114百万円（前年同期実績は32百万円）となりました。

③ 動物用医薬品卸売事業

動物用医薬品卸売事業におきましては、コンパニオンアニマル部門の売上が伸長し5,589百万円（前年同期実績は5,314百万円）となる一方、仕入価格の上昇等の影響によりセグメント利益（営業利益）は、183百万円（前年同期実績は182百万円）となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、売上高は前述したように、コロナの感染症法上の分類が5類に変更されたことに伴う人流増加等により、スポーツ関連施設運営事業の収益が伸びたことで、売上高は、2,035百万円（前年同期実績は2,011百万円）、セグメント損失（営業損失）は、経費削減に努めたものの電気料金、燃料費の高騰により108百万円（前年同期実績は146百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,029	30,463
受取手形及び売掛金	118,585	127,815
棚卸資産	30,846	31,052
未収入金	16,466	15,981
その他	3,616	2,897
貸倒引当金	△41	△48
流動資産合計	188,502	208,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,370	19,848
土地	24,917	25,026
その他（純額）	3,736	4,183
有形固定資産合計	49,024	49,058
無形固定資産		
のれん	818	750
その他	2,558	3,408
無形固定資産合計	3,377	4,158
投資その他の資産		
投資有価証券	44,642	48,064
その他	12,771	13,335
貸倒引当金	△1,002	△1,035
投資その他の資産合計	56,411	60,365
固定資産合計	108,813	113,582
資産合計	297,316	321,745

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,571	186,787
短期借入金	990	890
1年内返済予定の長期借入金	970	970
未払法人税等	2,095	1,343
賞与引当金	1,569	1,567
その他	8,462	8,263
流動負債合計	178,659	199,821
固定負債		
長期借入金	6,790	6,305
その他の引当金	251	236
退職給付に係る負債	855	825
その他	10,594	11,789
固定負債合計	18,491	19,157
負債合計	197,150	218,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,810	5,272
利益剰余金	67,864	68,809
自己株式	△7,575	△983
株主資本合計	78,099	78,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,972	22,709
退職給付に係る調整累計額	913	730
その他の包括利益累計額合計	20,886	23,440
非支配株主持分	1,179	1,226
純資産合計	100,165	102,766
負債純資産合計	297,316	321,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	290,166	294,213
売上原価	267,227	270,626
売上総利益	22,939	23,587
販売費及び一般管理費	21,418	20,719
営業利益	1,521	2,868
営業外収益		
受取利息	35	33
受取配当金	384	326
持分法による投資利益	27	28
その他	556	330
営業外収益合計	1,003	717
営業外費用		
支払利息	51	50
賃貸費用	41	39
その他	9	18
営業外費用合計	102	108
経常利益	2,423	3,478
特別利益		
固定資産売却益	13	33
投資有価証券売却益	59	169
その他	—	24
特別利益合計	72	227
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	22	49
投資有価証券評価損	55	42
土壌処理費用	62	—
解体費用	—	47
その他	5	29
特別損失合計	145	169
税金等調整前四半期純利益	2,350	3,536
法人税等	862	1,139
四半期純利益	1,487	2,397
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,437	2,347

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,487	2,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,806	2,322
退職給付に係る調整額	△178	△182
持分法適用会社に対する持分相当額	213	413
その他の包括利益合計	3,841	2,553
四半期包括利益	5,328	4,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,279	4,900
非支配株主に係る四半期包括利益	49	50

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,350	3,536
減価償却費	1,460	1,505
減損損失	22	49
のれん償却額	171	69
貸倒引当金の増減額(△は減少)	660	39
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,093	△226
受取利息及び受取配当金	△419	△359
受取賃貸料	△113	△130
支払利息	51	50
持分法による投資損益(△は益)	△27	△28
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△3	△126
有形固定資産除売却損益(△は益)	△13	△31
売上債権の増減額(△は増加)	△4,042	△9,161
棚卸資産の増減額(△は増加)	344	△183
未収入金の増減額(△は増加)	713	520
差入保証金の増減額(△は増加)	4,301	28
仕入債務の増減額(△は減少)	2,563	22,158
その他	△794	△298
小計	5,069	17,407
利息及び配当金の受取額	408	342
利息の支払額	△51	△50
法人税等の支払額	△2,255	△1,906
法人税等の還付額	857	897
その他	5	76
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,035	16,767

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△150	400
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△549
有形固定資産の売却による収入	102	116
無形固定資産の取得による支出	△306	△1,583
投資有価証券の取得による支出	△183	△5
投資有価証券の売却による収入	265	277
投資有価証券の償還による収入	100	200
貸付けによる支出	△60	△0
貸付金の回収による収入	25	11
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△147
その他	113	△268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,200	△1,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100
長期借入金の返済による支出	△485	△485
リース債務の返済による支出	△379	△481
自己株式の処分による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△998	△956
配当金の支払額	△745	△1,401
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,611	△3,429
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	223	11,789
現金及び現金同等物の期首残高	23,239	15,147
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,492	26,936

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積もり実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(表示方法の変更)

当社グループは、従来より、メーカーへの販売情報提供に係る収入を「営業外収益」の「受取事務手数料」として計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めることとした表示方法の変更を行っております。

当社グループは、「次代を見据えたビジネスモデルの革新」という中期ビジョンに基づき、「医療のDX進展に伴う流通・マーケティングモデルの進化」の基本方針のもと、情報提供サービスの重要性が高まっていることから当該活動を主要な営業活動のひとつとして位置づけたことに伴い、当社グループの営業活動の成果を適切に表示するために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取事務手数料」790百万円を「売上高」に組み替え、「売上高」が290,166百万円、「営業利益」が1,521百万円となっております。なお、「経常利益」及び「税金等調整前四半期純利益」に与える影響はありません。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「未収入金」199百万円を「受取手形及び売掛金」に組み替え、「受取手形及び売掛金」が118,585百万円となっております。

あわせて、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「受取事務手数料」及び「受取事務手数料の受取額」は、「売上債権の増減額」に含めております。この結果、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の表示していた「受取事務手数料」△790百万円及び「受取事務手数料の受取額」784百万円は、「売上債権の増減額」に組み替え、「売上債権の増減額」が△9,161百万円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、その主たるセグメントである「医薬品卸売事業」、「薬局事業」及び「動物用医薬品卸売事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品卸売事業」は、病院、開業医、薬局等の医療機関に、医薬品・診断薬・医療機器・材料等の販売等をしております。「薬局事業」は、一般消費者に医薬品・医療機器・器具及び衛生材料等の販売をしております。「動物用医薬品卸売事業」は、農場、牧場、動物病院、診療所等に、動物用医薬品・飼料等の販売等をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前第2四半期連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	273,830	9,009	5,314	288,155	2,011	290,166	—	290,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,125	3	0	5,128	1,263	6,392	△6,392	—
計	278,956	9,013	5,314	293,284	3,274	296,559	△6,392	290,166
セグメント利益又は損 失(△)	1,393	32	182	1,609	△146	1,463	58	1,521

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業、スポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額58百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	277,201	9,386	5,589	292,178	2,035	294,213	—	294,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,276	6	0	5,283	1,300	6,583	△6,583	—
計	282,478	9,392	5,589	297,461	3,335	300,797	△6,583	294,213
セグメント利益又は損 失(△)	2,640	114	183	2,938	△108	2,829	39	2,868

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業、スポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額39百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。